Webコンピューティングの 概念と働きを理解し評価で さる。 Webコンピューティングの 概念と働きを理解し評価で さる。 Webコンピューティングの 概念と働きを理解し評価で さる。 Webコンピューティングの 概念と働きを理解し書きる。 Webコンピューティングの 開発環境を設定できる。 Webコンピューティングの 開発環境を対象よく利用で きる。 Webコンピューティングの 開発環境を対象よく利用で きる。 Joe #禁集し評価できる。 Joe #禁集し評価できる。 Joe #禁集し評価できる。 Joe #禁集し評価できる。 Joe #禁集し評価できる。 Joe #						
科目医号						
理影形態						
開設明 前期 返時間数 1						
### 24						
担当教員 内田 保護 到達目標 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境が利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境を関係できる。 (Webコンピューティングの開発環境を開発しますできる。 (Webコンピューティングの開発環境を開発しますできる。 (Webコンピューティングの開発環境を開発しますできる。 (Webコンピューティングの開発環境を対象と、利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境を対象と、利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境を対象と、利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境を対象と対象を利用できる。 (Webコンピューティングの開発環境を対象と対象を利用できる。) (Webコンピューティングの開発環境を対象と対象を利用できる。) (Webコンピューティングの開発環境を対象と対象を利用できる。) (Webコンピューティングの開発環境を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象に対象に対象を対象と対象に対象を対象を対象と対象を対象と対象に対象を対象と対象に対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象と対象を対象を対象と対象を対象と対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対						
到達目標						
①Webコンピューティングの開発環が理解できる。 ②基本的なWebアプリケーションが構築できる。 ループリック 理想的な到達レベルの目安 概念と働きを理解し評価できる。 ②製達目標 Webコンピューティングの 概念と働きを理解し評価できる。 到達目標 Webコンピューティングの 概念と働きを理解し評価できる。 到達目標 Webコンピューティングの 開発環を設定できる。 到達目標 Webコンピューティングの 開発環を設定できる。 到達目標 基本的なWebアプリケーシ 显示的なWebアプリケーシ 記念を働きを理解し説明できる。 対達目標 基本的なWebアプリケーシ 显示的なWebアプリケーシ 記念を備楽し考察できる。 学科の到達目標項目との関係 教育方法等 第2学期開講 経営情報システムの構業プロセスは、経営情報システムの構想設計と具体的にシステム設計する。 「およ、本料目は各名の段階を対象とし、Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実質技术を修得することを目的とします。Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実質技术を修得することを目的とします。Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実質技术を修得することを目的とします。Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実質大変を修得することを目的とします。Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実質大変を修得することを目的とします。Webコンピューティングの配合的な活用の演習として、実質対象を修得することを目的とします。Webコンピューティングの配合的なできる。 フログラムを丸踏記するのではなく、処理の仕組のを理解することが重要です。使用するプログラミング言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理察の手助けとなります。 投業計画 「授業計画 「授業内容 ことができる。」・ボータペースシステムの設定を「い解表に言る。・Webコンピューティングの開発環 ・シラバスから学習の意義、授業・理解ロンピューティングの開発環 ・シラバスから学習の意義、授業・理解コンピューティングの開発環 ・ファータペースシステムの設定を「・開発言語の設定を行なうことが「・開発言語の設定を行なうことが「・別発達」の表できる。・Webコンピューティングの開発環 ・フォームの利用方法を理解できる。・Webコンピューティングの開発環 ・フォームの利用方法を理解できる。・Webコンピューティングの開発環 ・ジラバスから学習の意義、授業・理解ロンピューティングの開発環 ・ジラバスから学習の意義、授業・理解ロンピューティングの開発用することが「きお」・アータペースシステムの設定を行なうことが「・課題を理解し、外部設計ができる。・別発達の保険にできる。・Webコンピューティングの開発用することが「きる」・「非常などは、実現を理解し、外部設計ができる。」・「対象と理解し、外部設計ができる」・「課題を理解し、外部設計ができる。」は、課題を理解し、アログラミシグ・課題を理解し、アログラミシグ・課題を理解し、アログラミシグ・課題を理解し、アログラミシグ・・課題を理解し、アログラミシグ・・課題を理解し、アログラミシグ・・課題を理解し、アログラミシグ・・課題を理解し、アログラミシグ・・課題を理解し、アログラミシグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
2回の						
ルーブリック						
図別達目標 一次 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日						
概念と働きを理解し評価で 概念と働きを理解し表家で 概念とし働きを理解し説明で 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表	未到達レベルの目安					
別と目標	Webコンピューティングの 概念と働きを理解できない 。					
到達目標 基本的なWebアブリケーションを構築し評価できる。 基本的なWebアブリケーションを構築し部のできる。 基本的なWebアブリケーションを構築し部のできる。 基本的なWebアブリケーションを構築し部のできる。 基本的よびWebアブリケーションを構築し部のできる。 基本的よびWebアブリケーションを構築します。 教育方法等 第2学期開講経営情報システムの構築プロセスは、経営情報システムの構想設計でよった。本科自は後者の段階を対象とし、Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実好技法を修得することを目的とします。PHP言語を用いてWebアブリケーションを構築します。 要交換します。 要交換します。 授業の進め方・方法 重要な事項について練習問題を課します。練習問題を解いて実装することで、自身の理解度を把握しての科自は学修単位科目のため、事前・事後子習としてレポートを課します。 ではなく、処理の仕組みを理解することが重要です。 使用するプログラミング言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなります。 授業計画 週でグラムを対象をし、Webコンピューティングの耐発できる。・Webコンピューティングの開発できる。・Webコンピューティングの開発できる。・Webコンピューティングの開発できる。・Webコンピューティング側接を理解でとる。・Webコンピューティングの開発できる。・Webコンピューティングの開発できる。・アータベースシステムの設定を行なうことができる。・開発言語の設定を行なうことができる。・開発言語の設定を行なうことができる。・開発言語の設定を行なうことができる。・別発達語の設定を行なうことができる。・開発言語の設定を行なうことができる。・開発言語の設定を行なうことができる。・開発言語の設定を呼解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、外部設計ができる。・課題を理解し、外部設計ができる。・課題を理解し、外部設計ができる。・課題を理解し、外部設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム設計ができる。・課題を理解し、プログラム会計ができる。・説は使用を理解し、対してきる。・説は使用を理解し、プログラム会計ができる。・説は使用を理解し、対しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ンピューティングの 気が利用できない。					
新育方法等	基本的なWebアプリケーションを構築できない。					
概要 第2学期開講 経営情報システムの構築プロセスは、経営情報システムの構想設計と具体的にシステム設計するフ れる。本料目は後者の段階を対象とし、Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実						
概要 第2学期開講 経営情報システムの構築プロセスは、経営情報システムの構想設計と具体的にシステム設計するフ れる。本料目は後者の段階を対象とし、Webコンピューティングの統合的な活用の演習として、実						
授業の進め方・方法	ロセスとに大別さ 的なシステムの構					
使用するプログラミング言語のリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなります。 授業計画	ます。					
週 授業内容 週ごとの到達目標						
1週 ・ガイダンス						
1週 ・ガイダンス ・Webコンピューティングの意義						
1stQ ・Webコンピューティング概要	・Webコンピューティングの目的と意義について理解					
1stQ ・データベースシステムの設定・・開発言語の設定 ・データベースシステムの設定を行なうことが・ 開発言語の設定を行なうことが・ 開発言語の設定を行なうことが・	・Webコンピューティング概要を理解でき、図示できる。 ・Webコンピューティングの開発環境を理解でき、使用することができる。					
1stQ	・データベースシステムの設定を行なうことができる。					
・フォームの利用 ・PHPによるPostgreSQLの操作 る。 ・フォームの利用方法を理解できる。 ・PHPによるPostgreSQLの操作方 る。 6週 開発演習(1) ・課題を理解し、外部設計ができる。 ・課題を理解し、内部設計ができる。 ・課題を理解し、プログラム設計ができる。 8週 定期試験 ・課題を理解し、プログラニングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・課題を理解し、プログラミングの ・記録問題の解説を通じて間違った。	・開発言語の設定を行なうことができる。 ・パラメータの受け渡しについて理解できる。					
5週 ・ PHPによるPostgreSQLの操作方 ・ PHPによるPostgreSQLの操作方 る。 ・ 課題を理解し、外部設計ができる。 7週 開発演習(2) 8週 定期試験 9週 答案返却・解答解説全体の学習事項のまとめ 10週 ・ 試験問題の解説を通じて間違った。						
・課題を理解し、内部設計ができる フ週 開発演習(2) ・課題を理解し、プログラム設計が、できる ・課題を理解し、プログラム設計が、・課題を理解し、プログラミング。 8週 定期試験 9週 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ ・試験問題の解説を通じて間違った。	・PHPによるPostgreSQLの操作方法について理解できる。					
7년 (日本) (日本) ・課題を理解し、プログラミングで 8週 定期試験 ・試験問題の解説を通じて間違った。 9週 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ ・試験問題の解説を通じて間違った。 10週 ・	・課題を理解し、外部設計ができる。 ・課題を理解し、内部設計ができる。					
8週 定期試験 9週 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ ・試験問題の解説を通じて間違った。 10週 ・	`できる。 ごテストができる。					
9週 全体の学習事項のまとめ 。 10週						
10週 宝体の子音事項のまとめ 。	答案返却・解答解説・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる					
l loom l						
11週						
2ndQ <u>12週</u>						
13週						
14週						
15週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
評価割合	ンベル 授業週					
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリ その他 レポート	ノベル 授業週					
	ンベル 授業週合計					
総合評価割合 60 0 0 0 0 40 0						

知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	30	0	0	0	0	0	20	50
析レベル	30	0	0	0	0	0	20	50
思考・推論・	0	0	0	0	0	0	0	0
ND 00 65 4+46 F	0	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性 (人間力)【 】	0	0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習 経験と 創造的 思考力 【 】	0	0	0	0	0	0	0	0